

資料2

令和5年(2023年)7月12日
高齢者計画・介護保険事業
計画策定部会
高齢者いきいき課

市、包括、ケアマネなど、関係者が目指す姿を共有し、行動に反映している

- ・必要なサービス量の確保
・サービスの質の確保・向上
- ・医療・介護の関係者及びシステムの連携
・日常・入退院・急変時・看取りの各段階での連携強化
- ・住宅改修
・住まいの確保に向けた支援
・サ高住等の適切な運営
- <検討中>
- ・養護者による虐待防止、早期対応
・施設での虐待防止、早期対応
・意思決定支援が適切に使われている
- ・仕事との両立支援
・心身の負担軽減
・ヤングケアラーなど、隠れた介護者を見逃さない
- ・社会全体で認知症を正しく理解している。
・早期に兆候を把握し・診断できている
・認知症の方が地域と関わりながら幸せに暮らせる
- ・専門職・関係者の連携
・現場の事案から、全市的に対応すべき課題を抽出
・ビジョン実現の拠点として包括が力を発揮できる
- ・相談窓口が知られている
・困ったらずくに相談に行ける
・周囲の人が気付けて相談できる
- ・多様な民間サービスが高齢者を支えている
・地域住民や団体が高齢者を支えている
・移動支援や環境整備で望む暮らしが実現できている
- ・日常的に行く場所があり、人との交流がある
・希望や個性に合った就労・地域活動ができる
- ・体を動かす習慣が定着している
・良好な口腔・栄養状態が保たれている
- ・再自立が可能な方の多くがサービスを受けられる
・再自立に向けたサービス後も状態を維持できている
- ・状態維持・改善につながるサービス供給
・高齢者の自立を意識したケアマネジメント
- ・認定の適正化
・認定期間の短縮
- ・必要な人材の確保
・職場環境の改善
・生産性向上
- <検討中>

- 住み慣れた地域で、状態に応じた必要な介護等が提供されている C01
- 在宅医療と介護が一体的に提供されている C02
- 高齢者が、自分に合った安心できる住まいで暮らしている C03
- 災害や感染症への備えができています C04
- 高齢者の権利利益が擁護されている C05
- 家族の負担が軽減されている C06
- 認知症の予防と共生に向けた支援体制が整っている C07
- 多様な職種や機関が連携して個人や地域の課題を解決していく体制がある。 C08
- 身近な場所で、さまざまな困りごとについて安心して相談できる体制が整っている C09
- 多様な生活支援ニーズに対応する支援や見守りが、多様な主体から提供されている C10
- ライフスタイルや趣味に合わせて、就労や地域活動などの社会参加を行っている C11
- 住民が介護予防に資する活動に取り組む、要支援・要介護状態になりにくくなっている C12
- 再自立が可能な方に確実に機会が提供され、自立した暮らしを取り戻すことが可能になっている C13
- 状態改善や重度化防止につながるサービスが提供されている C14
- 自立に向けて、必要なサービスを提供するために適切な認定が行われている C15
- 介護人材が十分に確保され、やりがいを感じながら、無理なく、効率的に働いている C16
- PDCAサイクルによって介護保険制度の立案と運用が行われている C17

柱① 安心

出逢い、つながり、支えあう地域づくり

高齢者が認知症や要介護状態になっても、地域に支えられながら住み慣れた地域で自分らしく暮らしている。

柱② 希望

やりたいこと、なりたい自分をあきらめない環境づくり

高齢者が一人ひとりに合った交流・活躍の場に参加し、介護・フレイル予防につながる活動に取り組んでいる。

要介護状態等からの再自立や状態改善、重度化防止が効果的に行われている。

柱③ 未来

世代を超えて信頼できる制度づくり

必要なサービスを将来にわたって安定的に提供できる体制が整っている。

世代を超えて納得できる負担と給付の関係が保たれている。

誰もが安心と希望をもって歳を重ねられる、未来につながるまち

検討中

住み慣れた地域で、状態に応じた必要な介護等が提供されている

事業・施策	指標 >>	アウトカム④	指標 >>	アウトカム③	指標 >>
-------	-------	--------	-------	--------	-------

- 【C01再掲】必要な介護等のサービスを確保する
- 包括による地域の多職種・関係者の研修・会議
- 医療専門職向け発信？
- 訪問看護等の医療系サービス

医療と介護の両方を必要とする状態の在宅高齢者に対し、必要なサービスが提供されている。

- 在宅医療相談窓口
- ケアマネ向け情報発信？
- 救急医療情報キット(かかりつけ医療機関、緊急時連絡先、薬の情報等)の市民向け周知
- 地域住民への普及啓発 ACP(人生会議)や看取りに関する情報提供

在宅医療についての情報が、住民に十分に提供されている。

看取りや在宅療養についての市民の意識が高まっている

住民が、サービスの選択に必要な情報に加え、終末期まで意識した「生き方」の選択に必要な情報を取得しやすくなっている。

- ?
- ?

連携にあたっての課題が共有され、解決に向けて協力している

制度の現状や課題、医療職に期待される役割について共通認識がある。

医療・介護それぞれの専門職が目的意識を共有し、高齢者を支えるパートナーとして連携している。

- まごころネット(在宅医療支援システム)の活用促進
- 全国的なシステム標準化の流れを意識した、将来の連携手法の検討

日常的に医療と介護の支援者により情報共有・連携が図られている

- 入退院時の連携に関するフロー作成？
- 在宅療養者の急変時の対応ルールの作成？
- 救急医療情報キット(かかりつけ医療機関、緊急時連絡先、薬の情報等)整備等

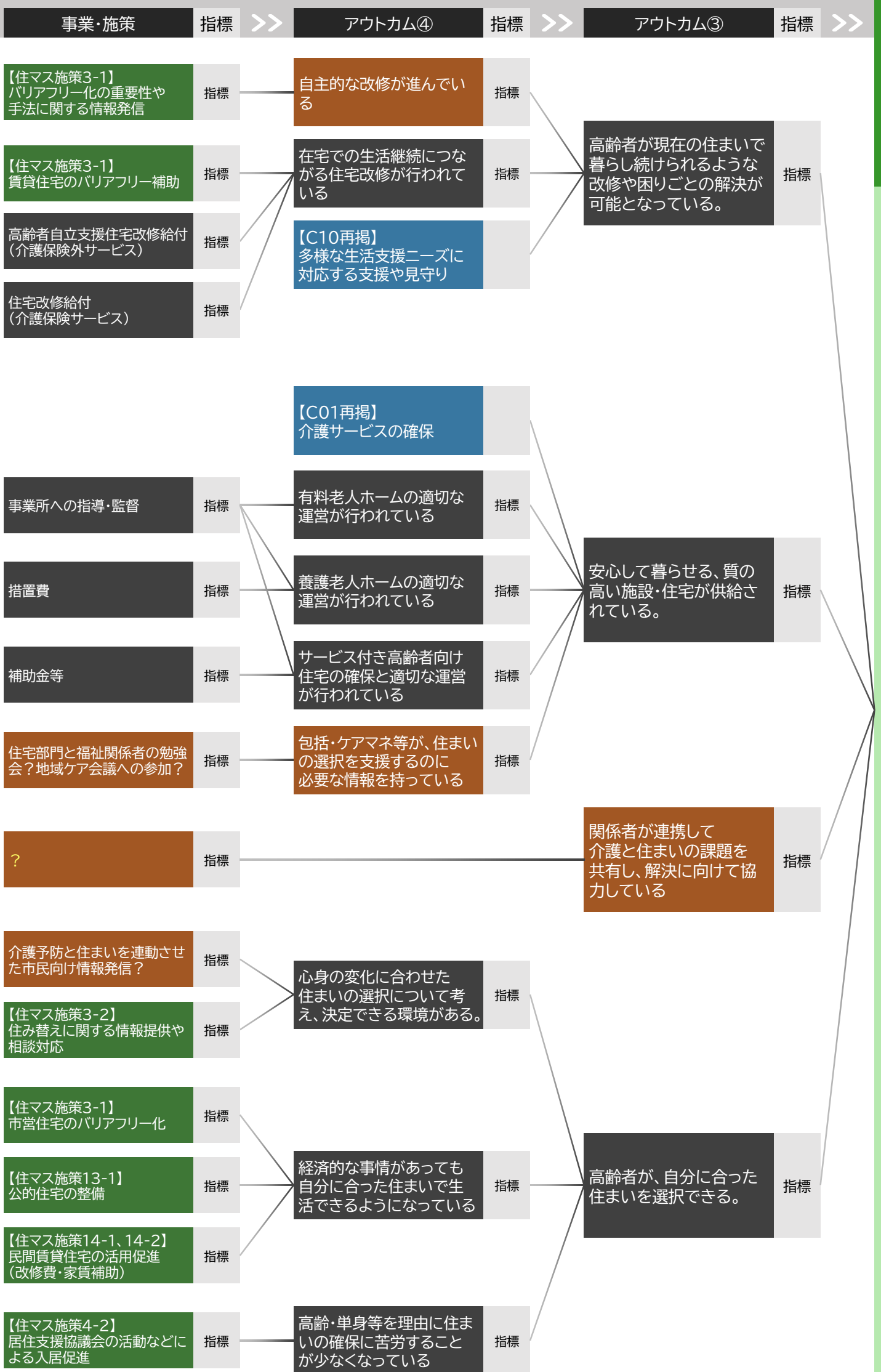
入退院時に医療と介護の情報共有・連携が図られている

急変時に医療と介護の情報共有・連携が図られている

医療と介護の両方を必要とする高齢者について、日常・入退院・急変時・看取りの各段階で必要な専門職間の連携が行われている。

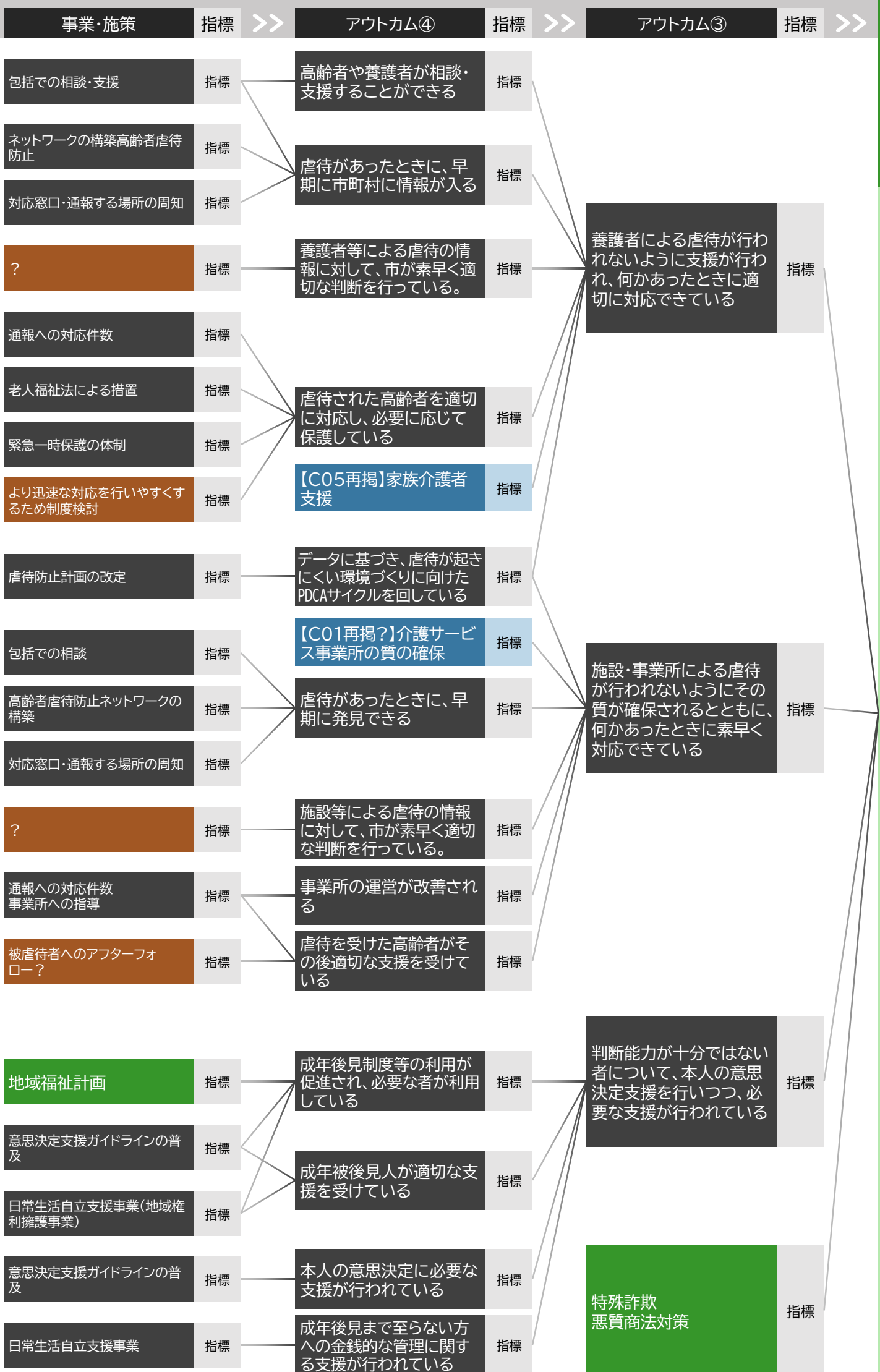
- (再掲)ケアマネ等への普及啓発 ACP(人生会議)や看取りに関する情報提供
- ?

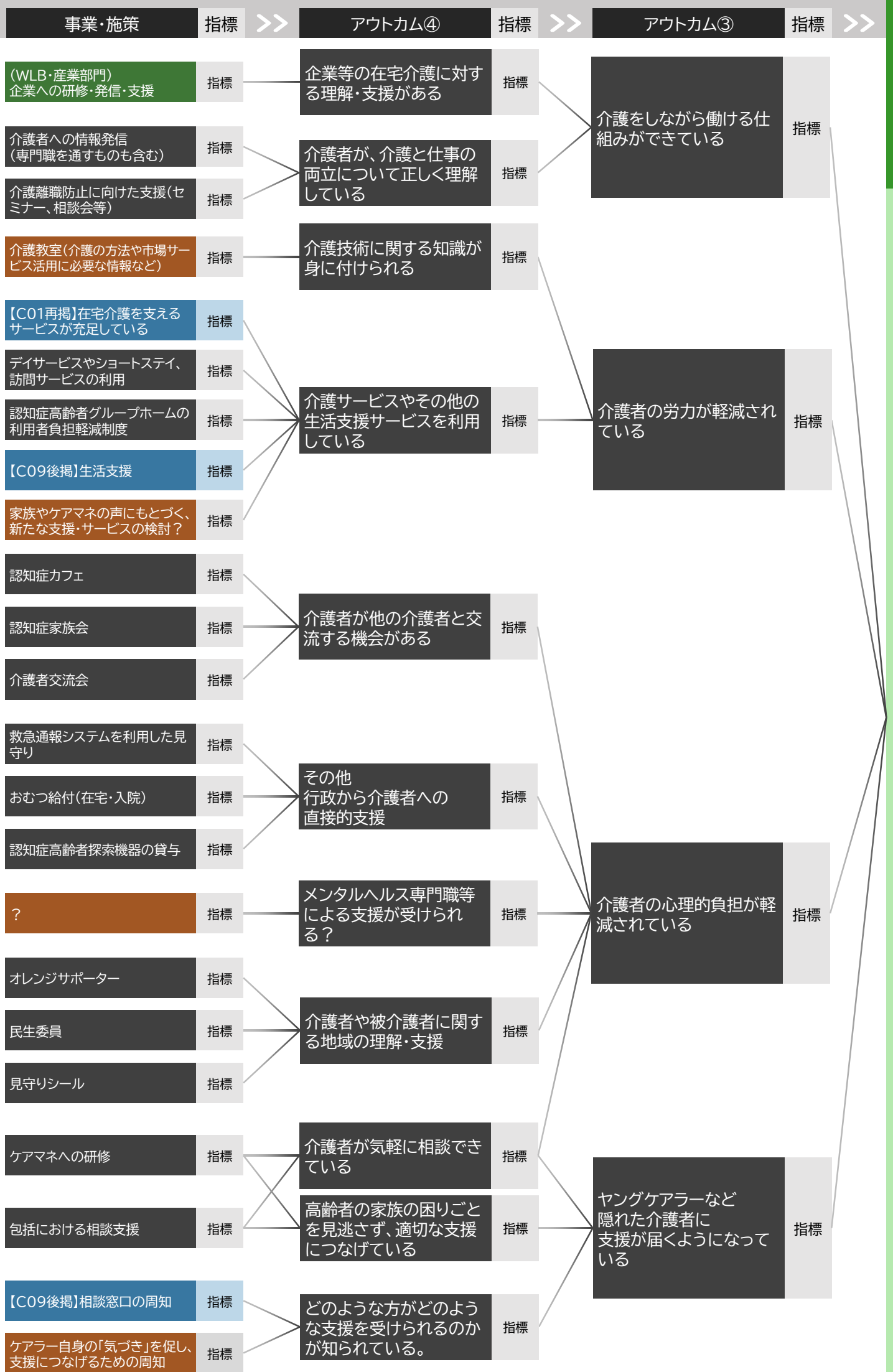
高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるような支援が行われている。

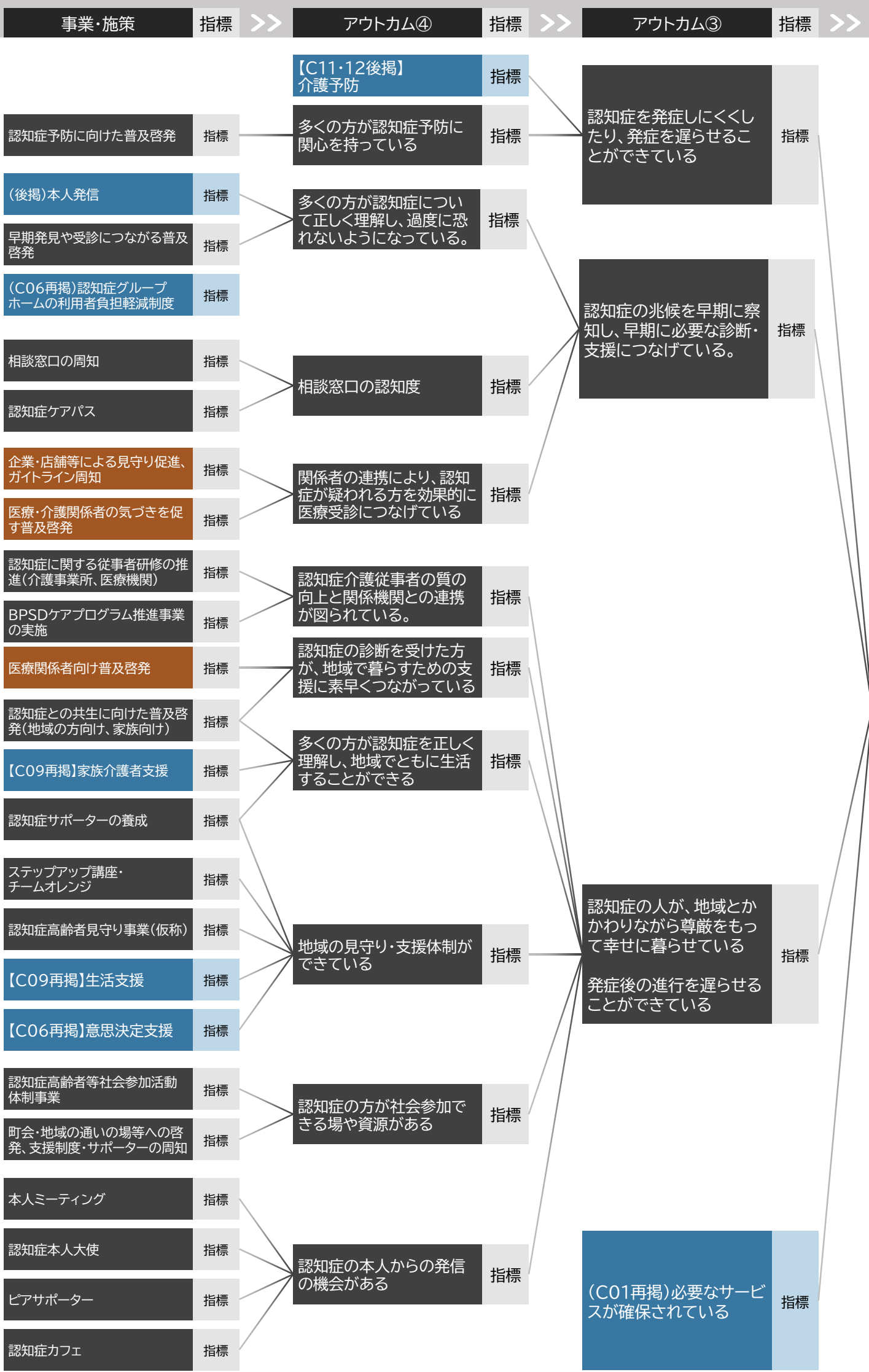


検討中

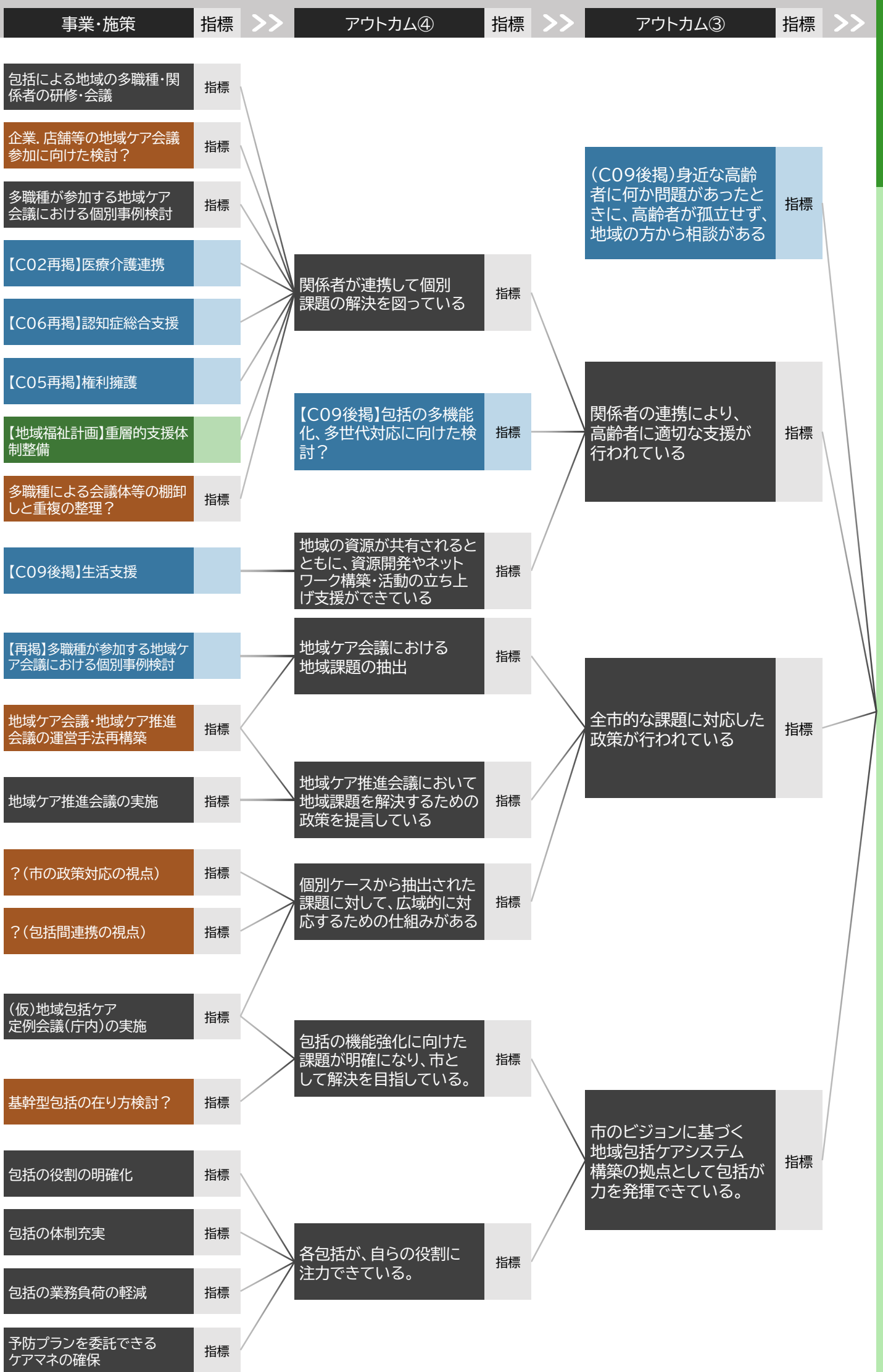
災害や感染症への備えができていない



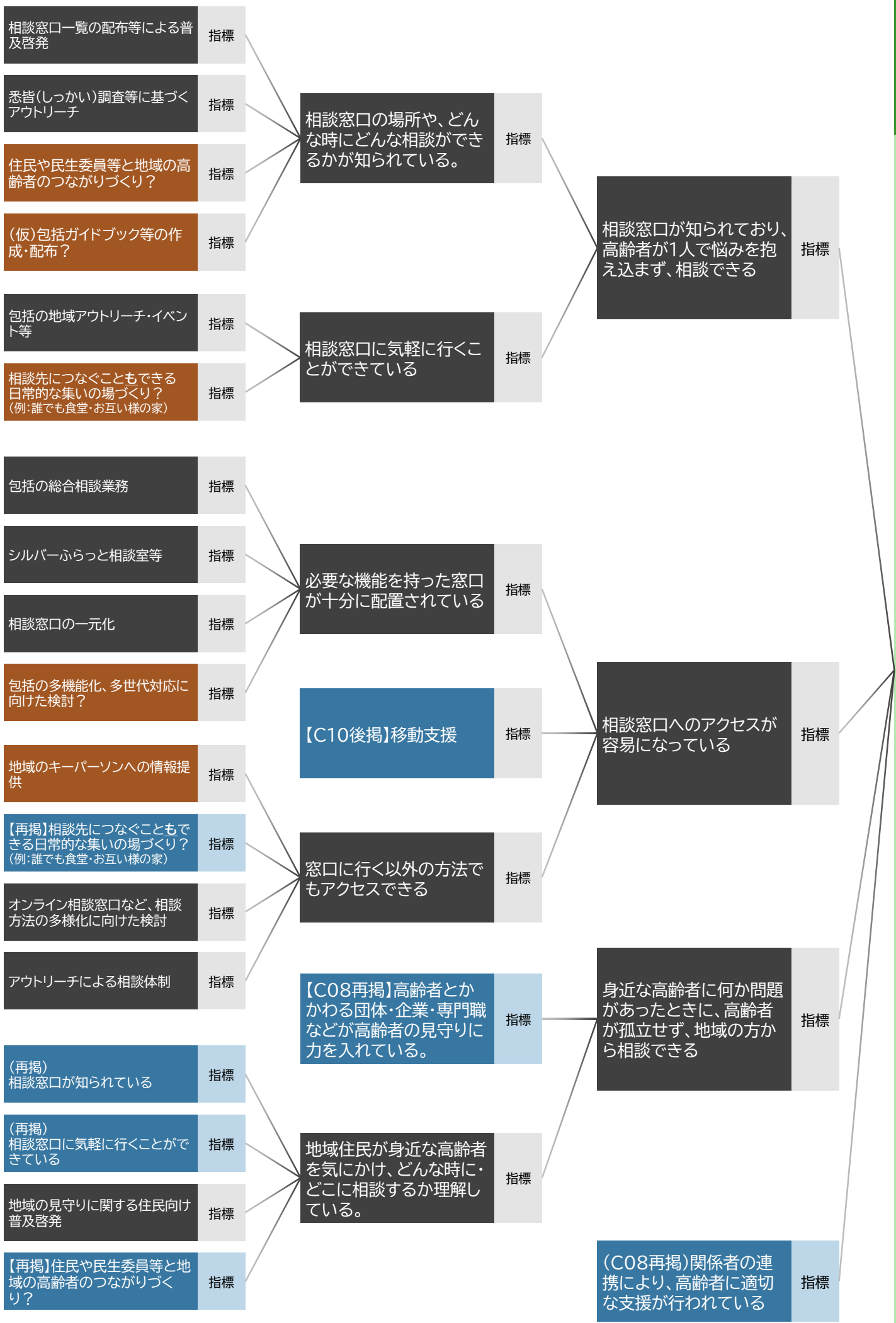


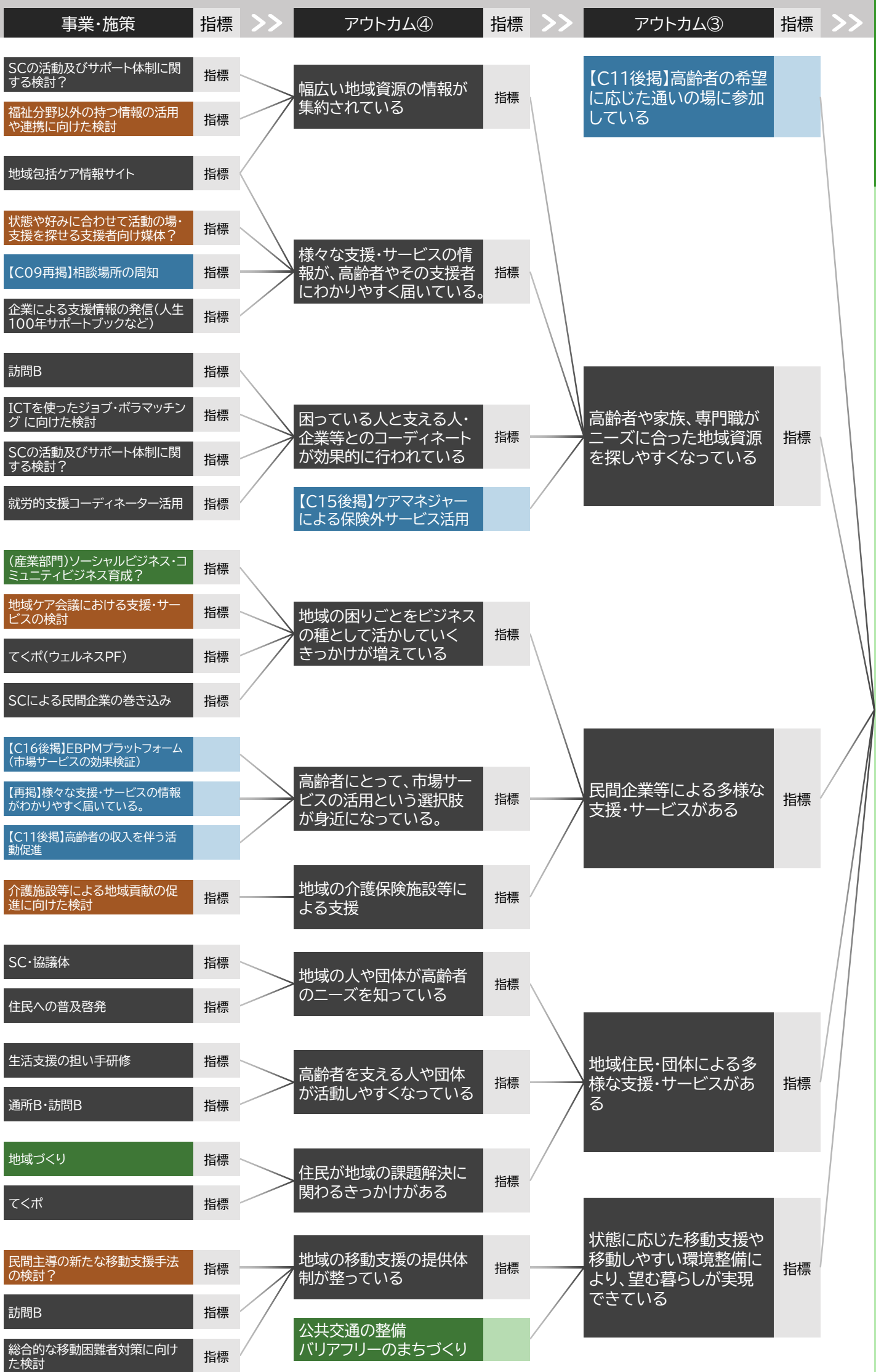


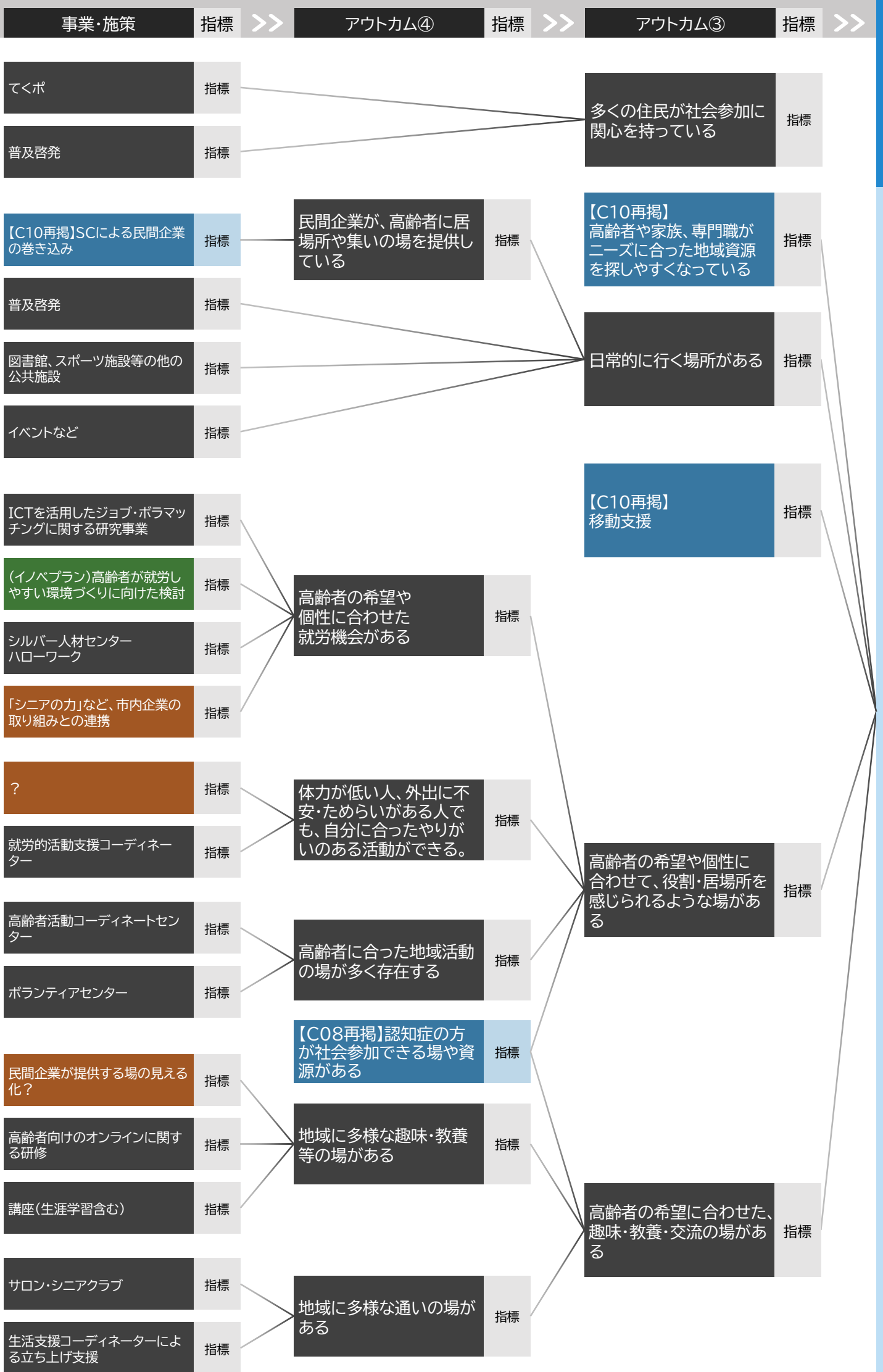
認知症の予防と共生に向けた支援体制が整っている
 ※予防⇨発症しにくくしたり、発症を遅らせたりすること及び早期発見・早期対応

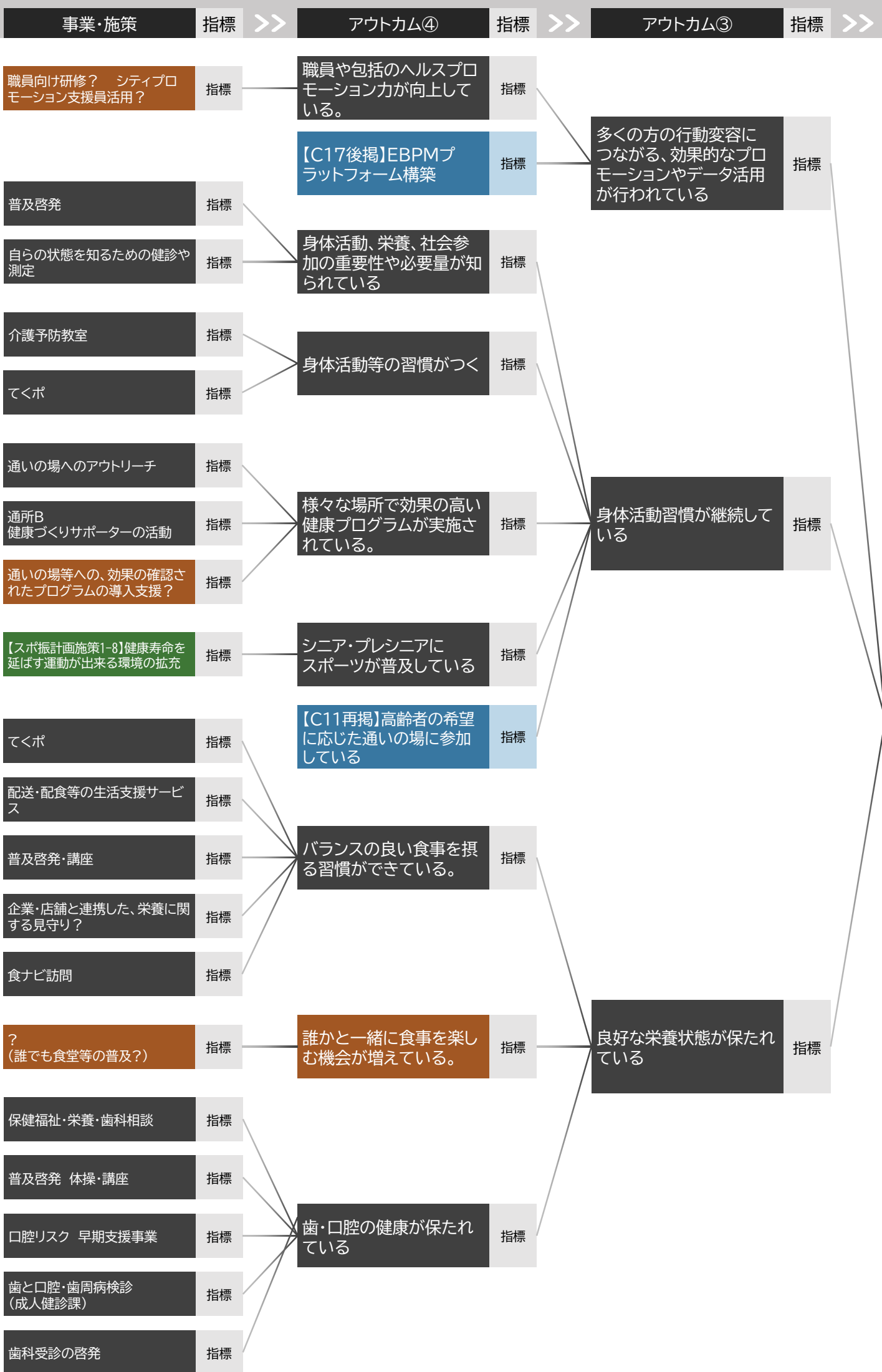


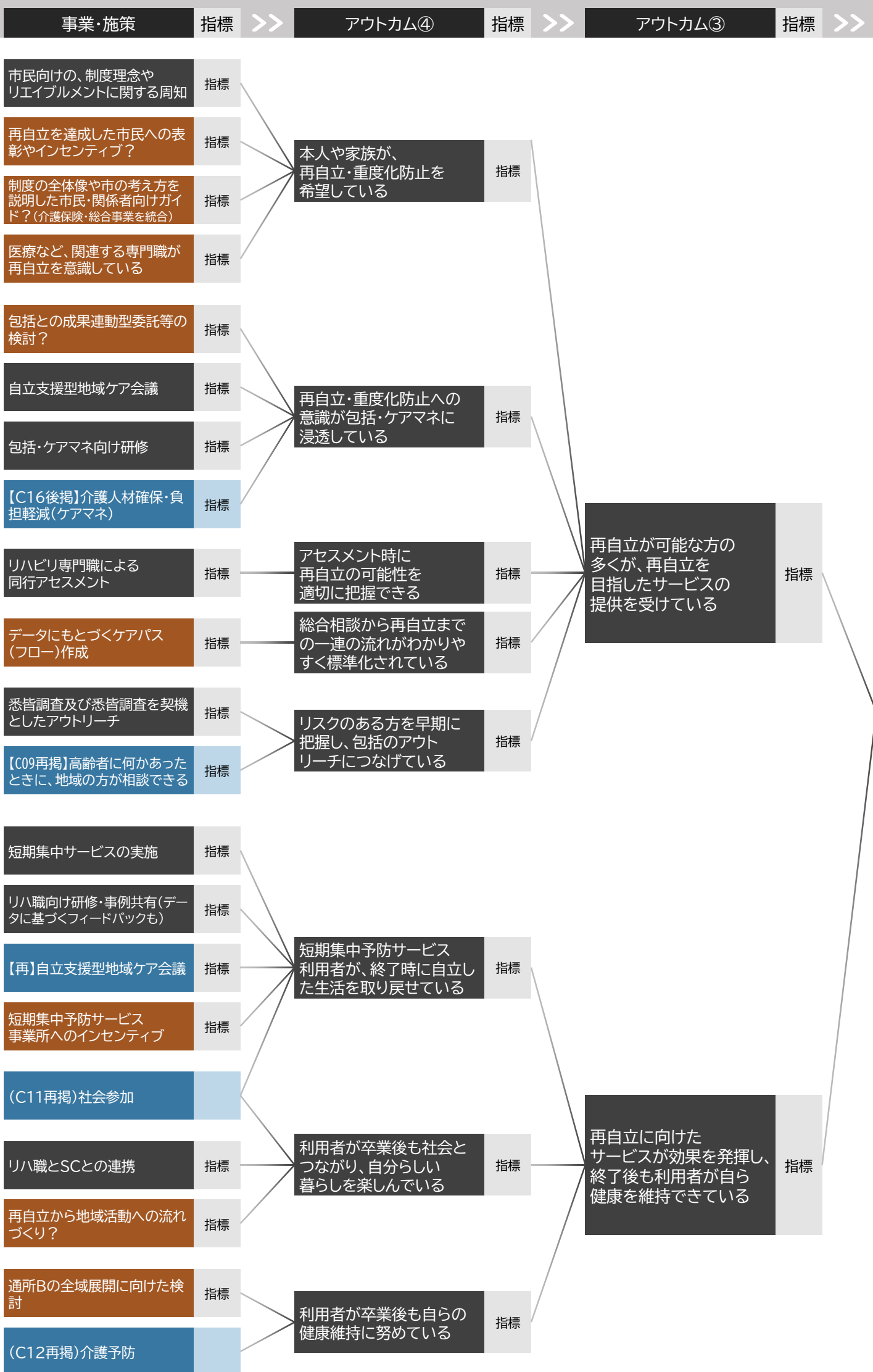
身近な場所で、さまざまな困りごとについて安心して相談できる体制が整っている











【C13再掲】制度の全体像や市の考え方を説明した市民・関係者向けガイド？

指標

(C13再掲)再自立・重度化防止への意識が包括・ケアマネに浸透している

指標

事業者向けの研修等
事業所への指導・監督

指標

自立に向けた目的意識や、状態改善・重度化防止の重要性が事業所に理解されている

指標

加算制度の周知・改善

指標

リハビリテーション専門商の育成・獲得や連携促進

指標

アウトカムに基づく新たな加算等の検討

指標

効果分析・優良事業所の公表などに向けた検討

指標

(C01再掲)LIFE活用の促進

指標

事業者が状態の維持・改善に取り組みやすい条件が整っている

指標

利用者の状態維持・改善につながるサービスが提供されている

指標

【C10再掲】状態や好みに合わせて活動の場・支援を探せる支援者向け媒体？

指標

リハビリ専門職による同行アセスメント

指標

データにもとづくケアパス作成

指標

ケアプラン点検

指標

ケアマネ研修

指標

自立支援型地域ケア会議

指標

(C13再掲)再自立・重度化防止への意識を包括・ケアマネが理解している

指標

介護保険サービスにとらわれず、効果的な自立支援・重度化防止につながるケアマネジメントのノウハウが浸透している

指標

高齢者の自立支援・重度化防止に向けたサービスが選択されている。

指標

第三者評価

指標

【再掲】効果分析・優良事業所の公表などに向けた検討

指標

(C13再掲)本人や家族が、再自立・重度化防止を希望している

指標

サービスの効果や他の利用者からの評価等を踏まえて、利用者がサービスを判断できる。

指標

【C13再掲】データにもとづくケアパス(フロー)作成

指標

【C13再掲】総合相談から再自立までの一連の流れがわかりやすく標準化されている

指標

【C13再掲】本人や家族が、再自立・重度化防止を希望している

指標

【C13再掲】再自立・重度化防止への意識を包括・ケアマネが理解している

指標

基本チェックリストが効果的に活用され、相談から再自立へのスムーズな流れができている

指標

認定が条件となる補助制度についての検証?

指標

【C13再掲】制度の全体像や市の考え方を説明した市民・関係者向けガイド?

指標

【C13再掲】データにもとづくケアパス(フロー)作成

指標

(C10再掲)多様な生活支援

指標

【後掲】速やかに認定を受けられている

指標

制度の趣旨が理解され、支援を必要とする方が認定申請を行っている

指標

更新勧奨通知方法の見直し

指標

制度の趣旨が理解され、支援を必要とする方が更新申請を行っている

指標

支援の必要性や改善可能性を客観的に反映した認定が行われている

指標

認定調査員研修

指標

すべての認定調査員が全国と同様の基準で調査している

指標

業務データ等の分析・公開

指標

すべての認定審査員が全国と同様の基準で審査している

指標

認定審査員向けの発信(マニュアル整備や結果フィードバックも実施)

指標

(再掲)支援を必要とする方が認定申請を行っている

指標

(再掲)支援を必要とする方が更新申請を行っている

指標

【再掲】基本チェックリストによる認定

指標

認定審査件数の伸びが緩やかになっている

指標

(C11,12再掲)社会参加・介護予防

指標

ICTやAIの活用に向けた検討

指標

認定事務が効率化できている

指標

介護給付を必要とするようになった方が、速やかに認定を受けられている

指標

認定審査会のオンライン開催

指標

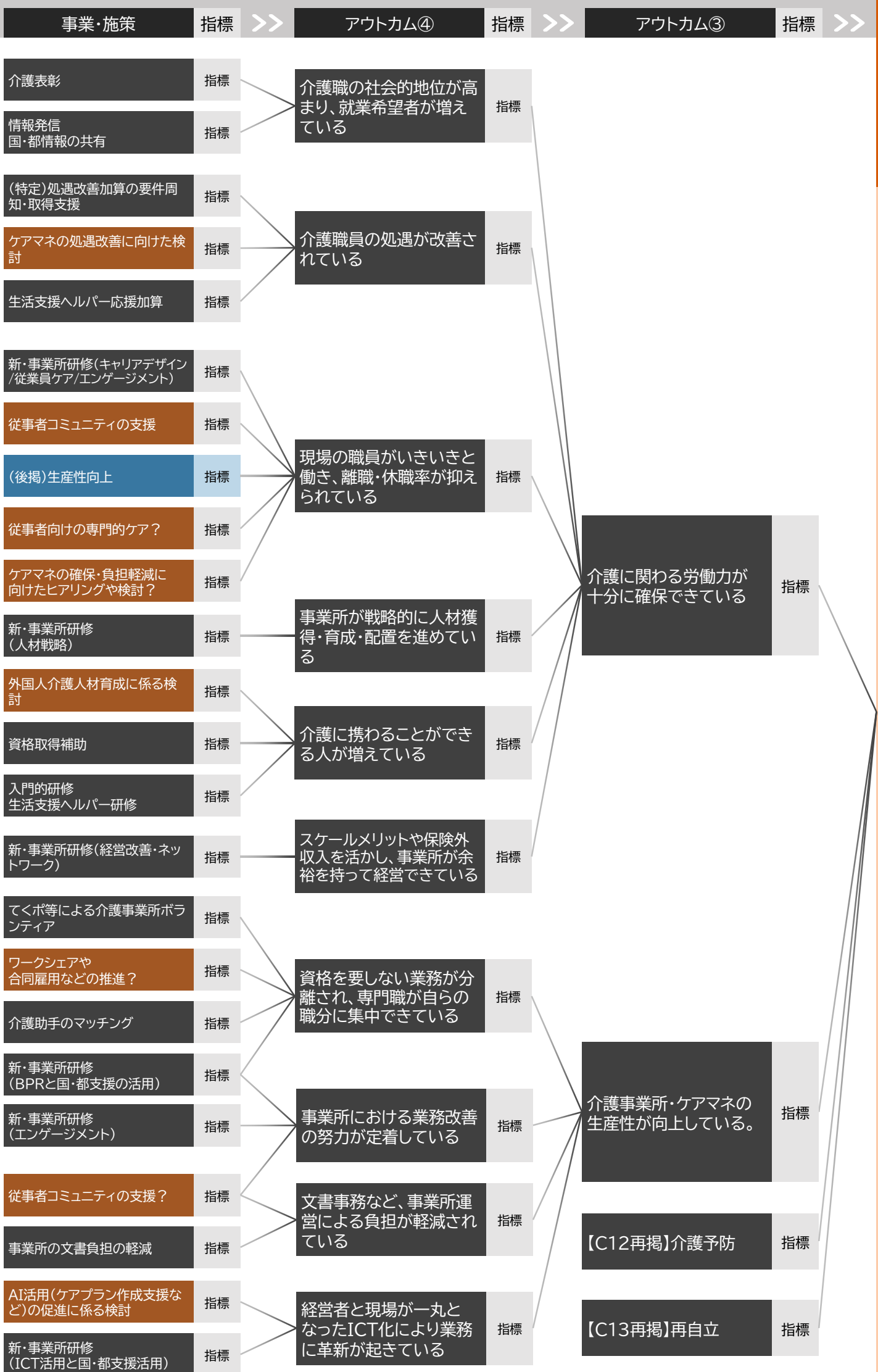
体制強化に向けた検討?

指標

認定審査の体制が整っている

指標

自立に向けて、必要なサービスを提供するために適切な認定が行われている



介護事業所・ケアマネの生産性が向上している。

【C12再掲】介護予防

【C13再掲】再自立

検討中

P D C A サイクルによって介護保険制度の立案と運用が行われている